

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	R6年8月27日(火)
クラス名(年齢)	すみれ 組(3 歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1、活動テーマ

<テーマ>

「聞く」

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

6人中で、身近な友達の声聞き分け、クラスの友達に興味を持つきっかけ

2、活動スケジュール

調で聞き分ける。慣れてきたら、2人同時に声を出したり、声を変えて

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

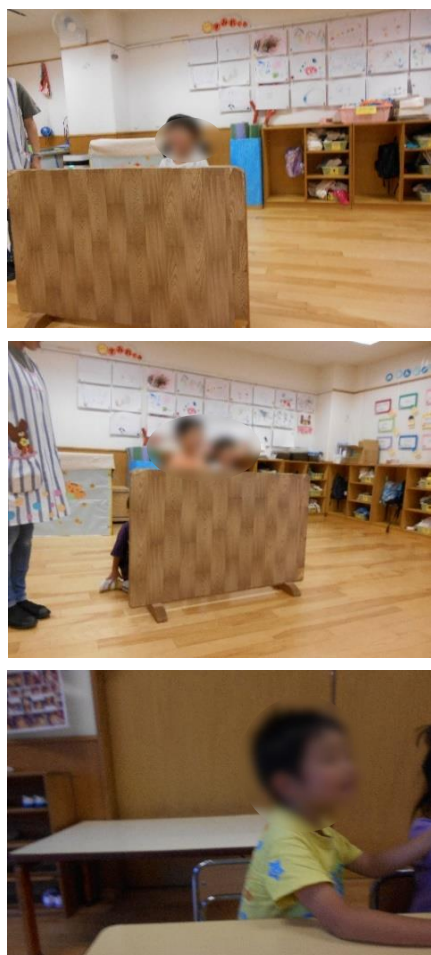
- ・子どもが3人～4人隠れられる「ついたて」を用意する

4、探究活動の実践

<活動内容>

- ・子どもたちが3人～4人ついたてに隠れて、保育者に肩をトントンされた子が「だーれだ」と声を出す。聞いている友達に誰かを当ててもらう。
- ・慣れてきたら2人同時に声を出す
- ・声を変えて出して当てる

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・友達がついたてに隠れると、みんな興味津々で友達の声聞き分けようと耳を傾けていた。</p> <p>・友達が「だーれだ」と言うと、すぐに「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と楽しそうに答えていた。</p> <p>・友達が出てくると当ててもらえた子も嬉しく、当てた子も嬉しそうに笑っていた。</p> <p>・2人同時に声を出すと、初めは少し悩みながらも「〇〇くんと〇〇ちゃんだ!」と当てていた。「なんで分かったの?」と聞くと「そう聞こえたから」と言っていた。</p> <p>・次に2人同時に声音を変えて言うようにする。「誰?」と笑いながらも「〇〇くんと〇〇ちゃんかな?」と悩んでいた。名前が出てくると周りにいた子もその子の名前を言い、正解でその友達が出てくると盛り上がった。</p>	

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・前回の活動も含め、身近な友達の声に注目し、クイズにすることで「聞く」をテーマに楽しめる活動になった。顔が見えない状態で、何気なく聞いている友達の声当てるのは難しいと感じたが、声にもそれぞれ声色、特徴があるからこそよく聞き分けられていたのだと思う。この活動をすると自然と静かになって聞く姿勢になっていた。「聞く」をテーマに興味・関心を持ちながら広げていけたらいいと思う。